

7	まちづくり実践活動を通した新しい『地域ブランド形成』	提案団体名	
		代表者氏名	所属
		作新学院大学総合政策学部まちづくりゼミ4期生	
		紺野 由奈	作新学院大学 総合政策学部
		指導教員氏名	橋立 達夫

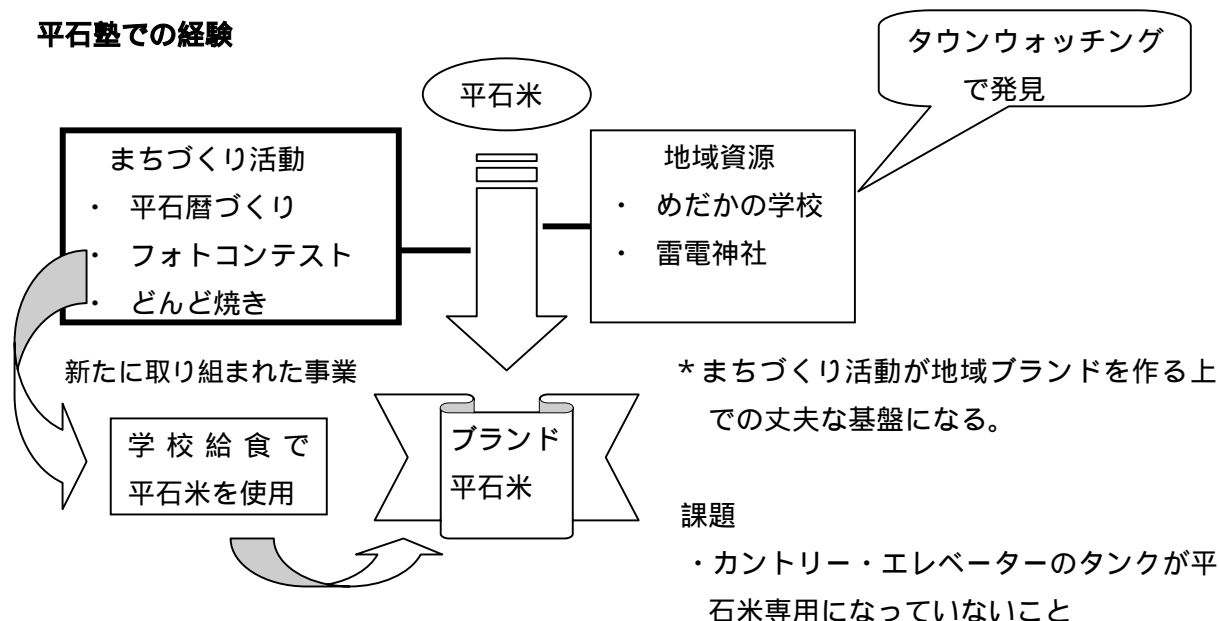
1. 提案の要旨

目標

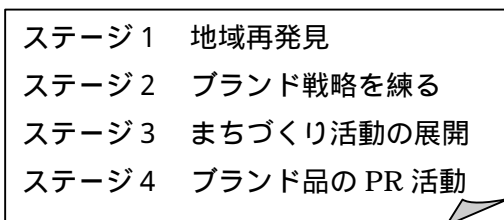
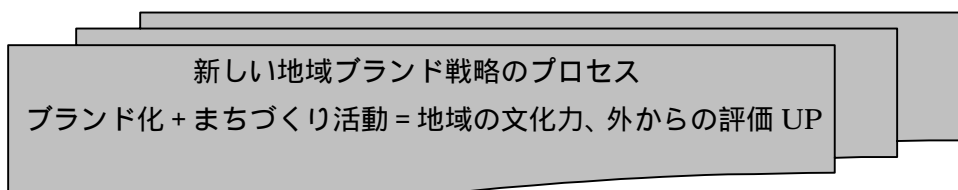
地域間の競争時代を生き抜くための
地域ブランドの確立（1つの手段）

ブランド化するには付加価値（＝まちづくり活動）が必要

平石塾での経験



まちづくり実践活動を通した施策提案



効果

- ・ 住民の地域に対する意識向上
- ・ 地域の文化活動の活発化
- ・ 地域経済の活性化

問題点

- ・ 積極的な住民と消極的な住民との情報の共有の仕方
- ・ 若い世代のメンバー確保の仕方
- ・ 住民主体の組織作り、スポンサーや行政との連携ノウハウ不足
- ・ まちづくりコーディネーターの確保の仕方

2. 提案の目標と特色

全国的に少子高齢化が進み、人口減少の時代に突入した今、地域は互いに連携して将来に続く道を探るとともに、時には、その生き残りをかけて互いにしのぎを削らなくてはならない時代にきている。そしてこのような競争時代を生き抜くには、地域を他の地域と差別化する「地域ブランド」を確立させることが一つの手段となる。

私たちは、宇都宮市平石地区におけるまちづくり講座「平石塾」に参加し、地域の皆さんと共に地域ブランド化の道を探ってきた。また、以前から茂木町でのまちづくりに参画し、地域の農産物や資源などをブランドに近い形で売り出すことにも取り組んできている。

こうしたまちづくりの実践活動を通して学んだことを生かして、私たちは、その地域ブランド化をまちづくりという手段を通して実現する方法とこれに必要な提案をしたい。

